

成人歯科健診 + 歯科ドック 口腔がん検診

個別検診	歯科健診・歯科ドック
対象者	30歳以上
自己負担	歯科健診 500円 歯科健診+歯科ドック 2,000円
備考	・歯科ドック単独は受診できません。 ・75歳（または76歳）の方は、広域連合の無料歯科健診をご利用ください。

個別検診	口腔がん検診
対象者	30歳以上
自己負担	500円
備考	・精密検査が必要な時は、別途負担金が発生します。

（1年に1回に限ります）

この成人歯科健診・歯科ドック事業は、川口市と川口歯科医師会の共同事業として、平成25年4月から始まりました。平成24年4月に母子・乳幼児から高齢者まで、全てのライフステージにおける歯科保健を推進することを目的として施行された「川口市歯科口腔保健の推進に関する条例」第7条（施行の実施）に基づくものです。

平成30年には、口腔がん歯科検診事業が始まり、口腔がんの早期発見が目的の検診です。治療が必要な場合は、大学病院との病診連携で行います。

歯・口の健康を守ることは、川口市民の健康増進と健康長寿社会における始めの一歩です。

子ども110番の 歯科医院



一般社団法人 川口歯科医師会
川口市教育委員会・川口警察署・武南警察署

訪問 無料 歯科健診



川口市在住の、寝たきり等で通院が困難な高齢者を対象に、川口歯科医師会の先生が訪問して歯科健診を実施します。申込みは、お気軽にお電話ください。

川口市地域保健センター

TEL 048-256-2022

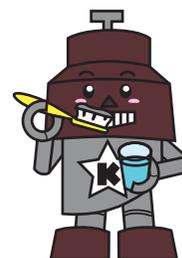
月曜～金曜日 9:00～17:00

歯科健診は 健康長寿の始めの一歩！



成人歯科健診 + 歯科ドック 口腔がん検診

30歳以上の川口市民が対象です！



きゅぼらん



歯科DOG



受診の際はこのマークのある歯科医院で
一般社団法人 川口歯科医師会

<http://www.kawaguchi-shikaishikai.or.jp>

歯科健診は あなたの長寿ライフを 豊かにします

歯周病は、糖尿病とともに「沈黙の疾患」と呼ばれています。長い年月をかけて口腔内をむしばみ、気づいたときには手遅れというケースが多い病気です。

また、口腔がんは死亡率の高い病気です。口腔内粘膜の物理的・科学的刺激も影響があります。大切なのは「口腔がん検診」での早期発見・早期治療になります。

あなたの歯と口の健康を維持するために、30歳を過ぎたら、早めに成人歯科健診と歯科ドック、口腔がん検診の受診をお勧めします。

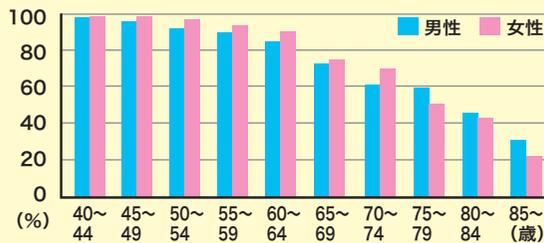
健診の対象が 30 歳以上の理由

40 歳を過ぎると喪失歯数が増えてくる

歯ぐきに炎症がみられる人の割合は30歳で80%以上といわれ、そのピークは45歳~54歳で88%を超えます。また、20歳以下の若年者でもおよそ半数に歯ぐきに炎症がみられます。

歯周病は自然に治ることはありません。急速に歯が失われ始める40歳以降は、定期的に歯科健診を受診し、専門家の指導を受けることが重要です。

20 本以上の歯を有する者の割合



平成28年 歯科疾患実態調査結果 (厚生労働省)

いつまでも食事を 楽しみたいですね

現在 80 歳以上の方は、約 40% が義歯 (入れ歯) を入れています。飽食の時代に、味が感じにくい、硬いものが食べられないと、皆さん苦労されているようです。



成人歯科健診の内容

◎ 問診

歯に関する悩みや日頃の生活習慣を、問診票や聞き取りで把握します。



◎ 歯周病等の健診

むし歯や歯周病などの状況をチェックし、治療・予防の適切な指導の基準にします。



歯周ポケットの深さ

◎ 事後指導

健診の結果、①異常なし、②要指導、③要精密検査などに分類し適切な指導を行います



歯科ドックの内容

※受診される方は、検査前の2時間以内の飲食・歯磨きは控えて下さい。

◎ ウ蝕活動検査 (RDテスト)

だ液の中の細菌を採取・培養して、口腔内の衛生状態や、むし歯の進みやすさ、かかりやすさなどを調べます。



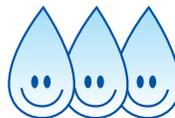
再石灰化

◎ だ液緩衝能検査

緩衝能 (酸を中和する力) が高ければ、口の中の酸を早く中和して、歯の再石灰化を促進させます。

◎ だ液量測定

だ液には、口の中を清潔にする働きがあり、だ液量が減少すると、むし歯や歯周病にかかりやすくなります。



◎ だ液潜血検査

歯周病の進行による口腔内の出血や、歯周病原菌が歯肉に侵入して起きる炎症反応を調べます。



口腔がん検診の内容

◎ 視診

腫瘍、腫れ、出血、口臭、歯肉の盛り上がり、舌や頬粘膜の色の变化などを目視で検査します。

◎ 触診

しこり、痛みなど、舌や唇を前や上に引っ張りあげて触って検査をします。口腔がんの疑いがある場合、連携の大学病院または専門医療機関で精密検査 (再検査) をお勧めします。

《 口腔がんの原因 》

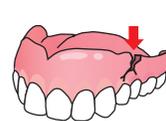
口腔がんの発症原因は明らかになっていませんが、お口の中が不衛生の場合や、合わない入れ歯や欠けた歯によって、舌や口腔内の粘膜に小さな傷ができ、その部分を物理的に刺激する状態が長期間続くと、細胞ががん化するリスクが高まります。

特にタバコ・習慣的飲酒などの科学的な刺激が加わると、がん化しやすくなると考えられています。

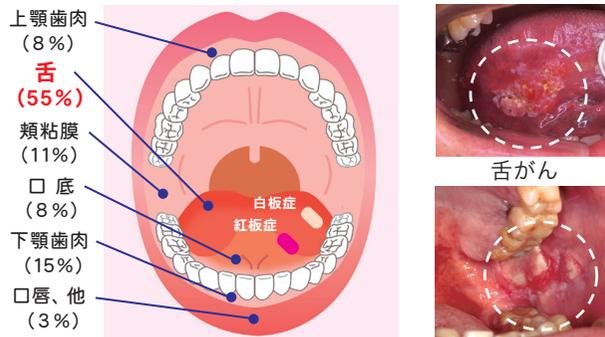
入れ歯の傷

習慣的飲酒

喫煙



《 口腔がんの部位と発生率 》



資料: 東京医科歯科大学口腔外科臨床統計 (2001年~2012年)



舌がん



頬粘膜がん



一般社団法人 川口歯科医師会

〒333-0844 川口市上青木3-12-63
SKIPシティ 彩の国ビジュアルプラザ棟4階
TEL 048 (487) 8065 FAX 048 (487) 8104